

町民の声を聞いた行政運営で住みよい町に

町長…手を貸せることがあれば貸して、町民と町づくりをしていきたい。



村形 昌一 議員



西東京市民まつりの様子

当町の友好都市について
現在の友好都市はどこで、どのような交流があるか。
町長 現在は、中国黒龍江省の方正県だけで、平成2年に友好提携して以来、独自の訪中団を派遣したりしたが、すべてが成功したとは言えない状況だ。
現在は相互の効果的な交流をどう進めるか検討

親子リサイクルについて
資源価格が高騰した平成17年からの回収額は、教育長 まず、各学校とも学区民のご協力に感謝しており、この場を借りて改めて御礼申し上げます。
全校合わせ、17年は41万円、18年は32万円、19年は103万円となっております。
単価交渉は教育委員会でするのがよいのでは。教育文化課長 各校自主的にするのがいいと考え

する時期にあると考える。
西東京市と友好都市の締結という考えはあるか
町長 民間レベルでの交流が進んでいると認識しているが、相手の意向もある。交流をさらに推進しながら互いに一定の実績を積み必要があると考える。事実、町市レベルの交流は何回かしているが、各関係団体とも協調しながら次のステップを踏む必要がある。
旧大石田高校解体について
保管場所としての代替施設はどう考えるか。
町長 今宿にある旧寄宿舎等に分離保管するよう指示している。それ以上の手配は考えていない。
が、今後検討したい。



西東京市民まつりに参加した町商工会青年部

小鵜飼舟は観光資源の一つとして県に保管場所の設置を頼めないか
町長 県ではノーだった。
今回は町民の声を代弁した。町民の側に立って行政運営をすることが住みよい町につながると思う。
町長 私もそう考える。町民の皆さんと町づくりをしていきたい。



職人の技「こて絵」(クロスカルチャープラザ)

職人の技「こて絵」(クロスカルチャープラザ)
町長 3階建ては木造建築には不可能であります。職人の町にふさわしい校舎建築になるように、各界各所から意見を聞き、事業推進にあたりたい。
ひなまつり続行への取り組みについて
町長 従来の体制で15回

舟下りへの取り組みについて
町長 今後は事業者に対して責任を持って事態の改善を図るよう強力に要請します。
庁舎内の物品などの発注は、できるだけ地元業者にすべきではないか
町長 町内業者育成から消耗品の6割以上、備品などはほとんど調達しております。経常経費削減から町内業者にも努力していただきたい。



あつたまりランド周辺の振興策は

を数え、今年限りです。今後は観光協会が中心になり、基本的に存続の方向で関係者と協議しております。町としては関わりを深め、支援をしていきます。
あつたまりランド深堀を中心にした振興策は
町長 入浴客、そば街道など、交流人口は年間50万人になりました。今後は、例えば洋式会議場の増設、公式競技の可能なグラウンドゴルフ場造成により、交流人口の拠点

化を考えていきたい。
温泉・そば・自然・食・歴史などをまるごと楽しみ親しめ堪能できる共通券の発行は。
町長 提案を受け、関係機関、関係者と話し合い、集客に努力します。



齋藤 公一 議員

町内業者と職人を育成すべき

町長：地元業者の振興と育成は変わらない課題です。